異世界の花嫁
Another World
宮下キツネ
Kitsune Miyashita
Please don't use
without permi
OniBoki
KADOKAWA COMICS

Please don't use
without permission
OniBoku

異世界の花嫁
Another World
宮下キツネ
Kitsune Miyashita
Please don't use
without permission
OniBoku

The Bride Of Another World

CONTENTS

異世界の花嫁 3

見つめる先に 31

ぷるぷるふるえるフィーリング 61

赤色の縛り 91

ぼくらの青春 119

キスの演習 145

おまけまんが 171

異世界の花嫁
いせかい
はなよめ
Please don't use
without permission
OniBoku

どこに行った
捜し出せ
見つけ出して
殺せ
コロセ
ひゅん
ひゅん
ひゅん
ひゅん
はぁ
はーっ
はーっ
くそ！
まずい…
このままじゃ
終わっちまう…
はーっ
一部だけでも
逃げ…ないと
ズリ
ズリ
はぁ
はっ
ここじゃない
どこかに…

ザァ
ザァ
ザァ
ザァ
ザー
ザー
ゴト
ゴト
ぷぴは
くそっ
なんだここはっ
ザー
ザー
ズリ
ズリ
ズリ
とにかく移動しないと…
どこか安全な場所で回復して
ゴッ
あいつら全員ぶっ殺してやる…
ザー
ザー
ザー

10年前 俺は
ヒトのガキに
救われた

まさに運命の
出逢い

16MART
16MART
酒・タバコ

ありがとう
ございました～♥
16

おつり162円
になります
16MART

大原(おおはら)くん
お疲れさま
おはようございます
早いですねっ

だって今日 大原君の
誕生日でしょ？

今日はもう
上がっていいわよ
後はやるから
えっ
いいんですか？
いいわよぉ

ああそうか今日は
僕の誕生日か…

ガチャ

ドサ

ずっと誕生日なんて
祝ってないから
忘れてたよー

一人だけになって
えーっと…10年に
なるのかな？

ふふ

20才になっちゃった

お酒解禁だね

じわ

おめでと僕！
いっぱい飲んで
酔っぱらってやるー

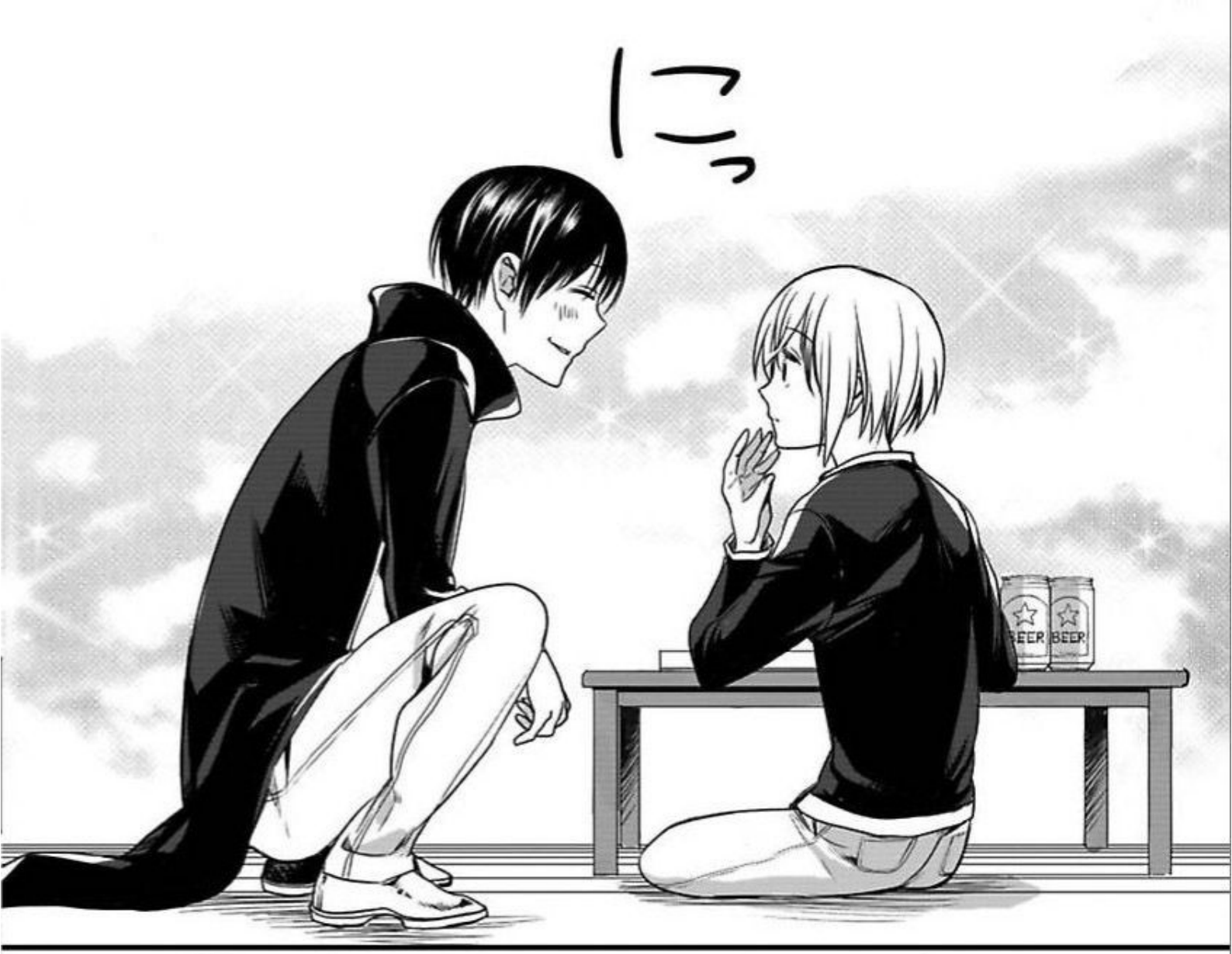
ゴキュ
ゴキュ
ゴキュ

僕一人で
頑張って生き
きたんだよぉ
おーい
ソラー
もうすぐ迎えに
行くぜ☆

ん

あれ…
寝てた？
変な夢
見ちゃったよ
うー
気持ち悪い

僕 お酒
弱いのかなぁ
そうかもなあ
何事も初めては
慎重にいかないと



Please don't use
without permission
OniBoku

あれ？人が見える…これが酒酔い？
ちがうちがうちゃんといるよぉ俺は――
ゴシゴシ
ハチだよ～
お前が名付けてくれただろ？
今は人間の姿に化けてるだけ
ハチ…？
君はハチねっ
いやぁ大人になったなぁすっげ～いい匂いっさすが俺の嫁!!
ぎゅぅぅ
さぁ行こーぜ！
わっ
ええ!?ハチ!?

ちょっと…
何!?
ん?
何って約束したろ
迎えに
来るって
おっ…
覚えてないっ
知らないよっ
本当かぁ?
ほっ本当
だよ
ビー
たった10年しか
経ってないのに
忘れるかこんな
大事な事…
10年も経ったら
忘れちゃうよ
細かい事は
人間なんだもんっ
ショック
じっ
うっ

なんだよ調子狂うなぁ
思ってた反応と全然違うぞ
ハイ
待ってたーレ
おうレ
まぁ無理強いはしたくないしな
スク
わかった
ソラが自発的に俺と来るって言うまで待つ！
ゼッ
それまで付きまとってやる！
はぁ？
また来るぜ！
しゅん
ええ!?
つきまとうって何だよ…勝手だなあ
変わってないね

約束…覚えてたんだ

大人になったら
迎えに行くよ
ソラは俺の花嫁だ

カチャ

ふぁぁ

どっこ行っくのー？

にっ

…バイト

ええー
そんなの
行ってんの？

そうだよっ
働かないと
生きていけ
ないでしょ

俺と来れば
働かなくていいし
不自由させないぜ？
ソラのために
向こうの環境
整えてあるしねっ
えっ
惚れ直した？
かっこいいだろ 俺っ
しっ知らない
バカじゃない！
スタ
スタ
スタ
あらかわいい
らしい態度
ガンガン
押してこ♥
おかえりー
ヒラヒラ
もーっ
勝手に入って
来ないでよっ
飯の用意
してあるぜ
う…
ありがと

俺も一緒に入っていい？
ダメに決まってるだろ！
鍵開いてるよー
ガチャ
ギャーッ
入ってくんな！
グイ
グイ
あまいやつ
あーかわいいかわいい～♥♥
やめてよーもーくっつくなって
だってすごくいい匂いする
匂いって何だよ
変なのが寄って来なきゃいいけど
おもい～

Please don't use without permission QniBoku

ギシ
ギッ
あれ？

はぁ…
やばいな
人体
ドッドッドッ
なんだよ
これ

すぅぅぅ
はぁ
あーいい匂い
ソラぁ
触りたい…
ぎゅ
ん
ぱち

なにっ
えっ!?
ごっごめん
好きだぜ
ソラ
すき
すき
やだっ
僕はっ
好きじゃ
ないからっ!
え
だって
僕…
男だし

男なのに嫁
なんておかしいし…
僕は人間だし
本当はずっと
待ってたんだ でも
一緒にいちゃダメだって
思うんだもん
俺の事…
嫌だった？
うん…
嫌だ…
…そうか
スッ
ごめんな…
しゅん

うん…これで
よかったんだ
う…
うぅ
うぇぇぇ〜
ガタ
ずず
ガタ ガタ
ひくっ
ひっ
ガタ ガタ
邪魔者…
いなくなった
ズズズ
ズズズ
なに？
ハチ…？

スリアア
うあ…
なに
ええっ
しゅる
しゅる
花嫁のにおいだ
しゅる
えっ
うまそう
ちょっと…
やだっ
うそっ
しゅる
しゅ
助けて

ザコが
俺の嫁に手
出してんじゃねぇよ
ごめんな ソラ
やっぱり一人じゃ
帰れねぇわ
ハチ…

あっちから
匂いにつられて
来たんだな
しゅうう
においい？
俺達と
婚約してると
〝花嫁〟の匂い
がするんだよ
それにその匂いが
するのはお互いが
想い合ってる証拠
でもあるんだぜ
バレてんだぞ ソラ
俺の事が好き
って認めろよ
種類とか性別とか
関係ないだろ
覚悟決めろ
俺と来いっ

ハチ…っ
とっ
好きだよっ
大好きっ
ぎゅわん
今からソラは
この世界から
消えて
俺のものに
なるんだ

ハチ
ハチだっ！
おうっ
ちゅ
んっ
れろ
かっこいい
だろー♡
ん
にゅるる
う
おぇ
グリ
カハッ
わりっ奥まで
入れすぎたか？
んっ

ゆっくり…
慎重にな
初めてだし
しゃる
んっ…ふふ
しゃる
笑ってんのか？
しゃる
だって
初めてって
うに
初めてだろ
あはは
くすぐったい
うに
うわっ
にゃる
僕すごい
格好してる
そそられるな
すごく…
かぽ
そうなんだ？
ふふっ
恥ずかしい？
うに
うに
うに

ううん
うれしい♥
にゅる
にゅる
にゅる

軽い麻酔
みたいなものだよ
少し麻痺させて
おかないと
にゅる
ぬち
ぬち
最初は負担が
大きいからな
優しいね

くちょ
くちょ
ん
あ
ぬるぬる
してる
にゅる
にゅる
ぬち

そうでもないかもよ
こんなの入れるんだぜ？
んっいい…よ
僕…およめ…さん
だか…ら……あ…
ギチ
ギチ
ズズズ
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ニチャ
ニチャ
じゃる

辛くなかった？
んー…
こっちにも人間
何人かいるからさ
友達になるといいよ
うん…

末長く
よろしくなっ
ソラ
END

見つめる先に
ahead of your eyes
Please don't use
without permission
OniBoku

The Bride Of Another World

Please don't make
without permission
OniBoku

綺麗なもの
好きなものは
見つめていたいと
思うだろう
だから隙をみて
彼の事をこっそり
見つめては甘い想いを
噛みしめているのだ

やばい

気づいてないと
思ってるんだ
もんなー
そう…

時田くん？
なに？
なにって？
いや、今
見てたよね
見てないけど
とんとん

悟られない
ように
しなくては

ははは
異形出現？
なにそれ
エイプリルフール
のやつ？
違う違う
これ本物だって
ん？
なんの話だ
都市伝説じゃ
ねーの？
ちげーよ
誰だそいつらは
近づくなよな

だって俺
この間――…
に

うわっ

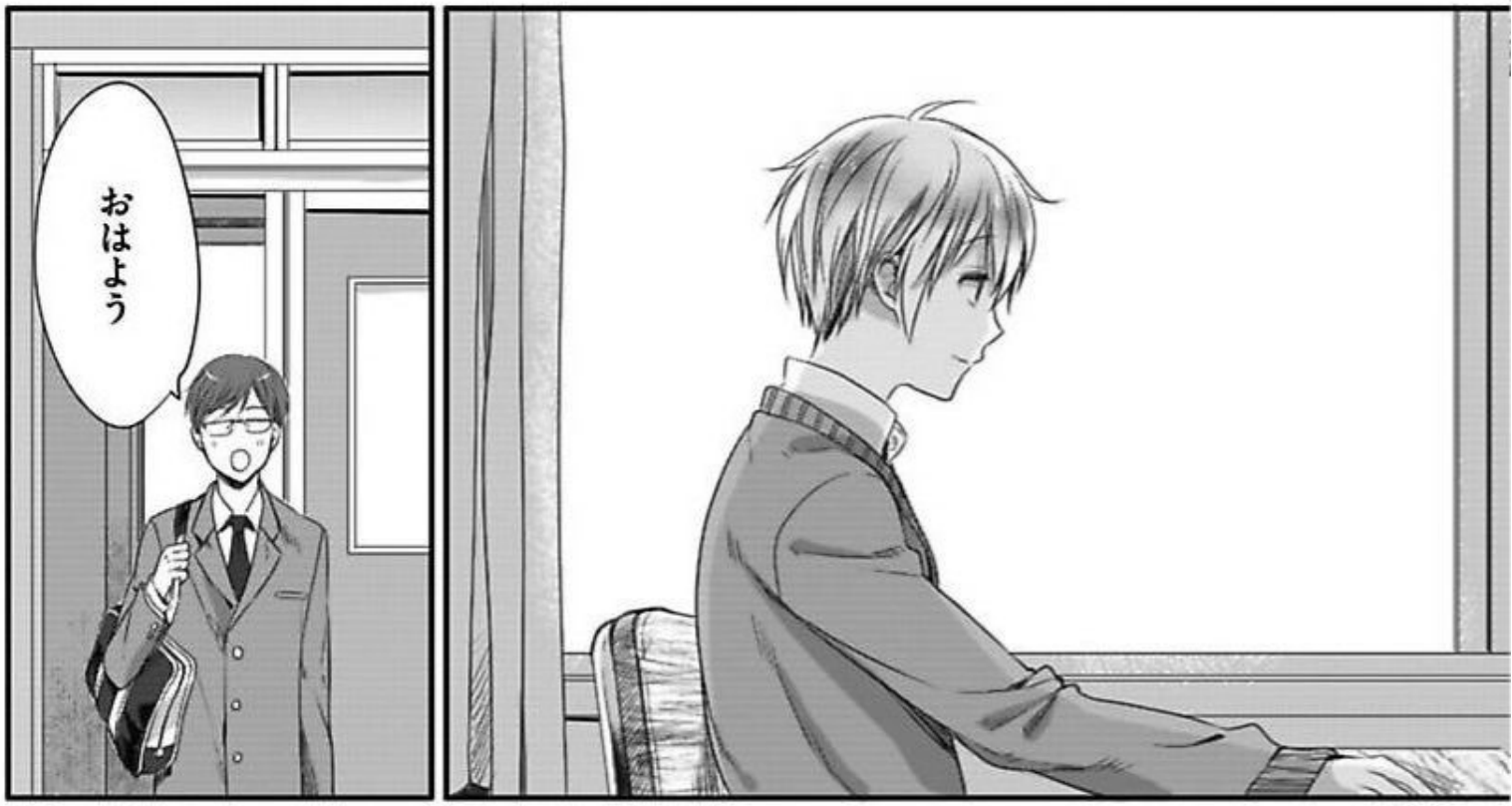
今のアウトだった？
いや大丈夫だろ
ドッ
ドッ
ドッ
っていうか怪物
ってなんだ？
ああ
あれか？

最近各地で目撃されている怪現象
見たこともない生物が出たとか新種のエイリアン？とか
こんなの承認されたいガキや暇人の捏造とか
オカルトや都市伝説の類のやつでしょ

こういうの好きなのかー
ふっ
大本もかわいいところあるんだなぁ

あれ…大本休みか？何か聞いてる
さぁー
風邪じゃないですかー
あっもしかしたら攫われたんじゃね？
は？なっなんだそれは
ほらっ最近噂じゃないですかー怪物目撃ってやつあいつ夢中だったから
あ～なんだよお前たちいくつだ小学生じゃないんだぞ

ふざけてないで始めるぞー
攫われた？いやいやそんなのあるわけないだろ違う違う
チラ
スキーン
心配だな


おはよう

おっ時田くんーはよー
具合はもういいの
具合？

ああっそうだった
休んだんだー
大丈夫だよー
はぁ～
ちょっと疲れた
だけー
そうかそれなら
よかったけど
あれ…
その痕
ああっ
なんでもないよー
そう…？

なんだろ
縛られた痕？
…まさかな
ねぇー
時田くんー
俺さぁー
トン
トン
一線を越えちゃった
かもしれない
え…
どういう…
ふふんっ
気になる？
知りたい？
は？
別にー
それから大本君は
どこかおかしく
なっていった

ボーっとしてる
時が多くなったし
時々学校も休む
ようになった
それになんていうか
俺が大本君を特別視
しているからだけじゃ
ないと思うんだけど

なあ～
大本ってさぁ
最近…
ひそ
ひそ
なんかエロいよな
それだ！

そうなんだよ
なんか色っぽい
んだよな
しかし
俺だけじゃ
なくて他の
やつらにも
性的に映って
いるなんて
ドキ
ドキ
ドキ
まずいぞ大本
一体何が…？

それ…
首のところ
痕になってるよ
ああー
さっ
も～～
また俺のこと
見てたのー？
いや！　たまたま
そっち向いたら
たまたま目についた
だけ…って
ごまかすなよ！
前にも手首に
同じような
痕があったし…
もしかして…
誰かに…何か
されてるのか？
心配して
くれてるの？
ありがとう
でもこれはー
友達と遊んでて
ついちゃった
だけだから
友達って？
そんな痕つけるとか
どんなやつだよ
どんなって…

人とは違う
何か？かな
は？
人とは違う？
どういう…
知りたいでしょ
時田くんにだけ
教えてあげようか
俺さー
オカルトとか
好きなんだけど
あーうん
きいてる…
それもつい最近
なんだよね
興味持ったのは
〝穴〟を見つけた
からなんだ

あな？
そうっ異界に
通じる穴だよ
発見したんだっ
発見!?
このアパートでね！

え！
ここ入っていいの!?
怒られない!?
は？
いかいって？
へーき
へーき

あっちの住人っていっても
俺達と思考は
それほど変わらないし
理性的だから
安心して
安心ってなにを

紹介するねっ

うにょ
うにょ
うに
うにょ
友達のカイロさん
でーす！

えっ…は？
なっ
なんだよこれ
触手？
に…
逃げなきゃ
大本I…
ちょっ落ち着いてよ
友達だって
言ったでしょっ
ほら
危険ないよ
しゅる
何週間か前に
会ってからずっと
仲良くしてるんだから
そうだぞ
仲良しだ
しゅる

え!? 今誰が喋った? 他に誰がいるの?
ワタシだよー
キョロキョロ
ワタシ
うにょ
ハハハ
だから言っただろ俺達と変わらないって
えぇ!?
今はこちら側に慣れていないからこんな姿だけど向こうでは君らとさほど変わらんよ
えっそうなのなんだ〜安心〜〜っ
ホ
とはならないからな!
ふふっ打ち解けてるみたいでよかった
いやっ! どこが? まぁもう警戒心なくなってるけどな
そうだぞぉ私はオオモトの悩みを聞いてあげるよい友達なんだ
悩み?
あっちょっとカイロさん
うにょ

いつも自分を
見つめてくる
人物がいるんだけど
問いただしても
認めなくて
最初は嫌だったけど
だんだん見られている
のが嬉しくなって
そいつが気になり
出して 好きに
なったのかもー
っていう話を
聞いてるのだよ
うう
え
それって
もう…なんで
言っちゃうかな
ハハハ
はぁ
お前が連れて
来なければ私は
話さなかったからな
しゅる
見せに来たのか
はぁ〜
そうかなるほど
しゅ
だって時田くんが
俺を心配って
いうから
そっそうだよ
最近変だった
から原因を
知りたくて
しゅる
えっちょ…
違うからっ
しゅるる
Please don't use
without permission
OniBoku

だが実践した
方がわかり
やすいだろう
うにょ
うにょ
うにょ
おいっ！
安全じゃ
なかったのかよ！
もちろん安全だよ
いつもこうして
慰めてやってるんだ
しゃこしゃこ
今日はそういうの
じゃないってば
うにょ
だめ
うにょ
なっ
あっちょっとぉ
なぐさめって…
うにょ
うにょ
うにょ
快楽を得る方法は
私たちとさほど
変わりはないようだ
しゃこしゃこ
ただ私の体液には
催淫効果があるよう
だけどね
うにょ

時田…くん
いつもより感度がいいな
しっかり見ててやれよ
君に見られると興奮しちゃうよ

大本君
スッ
ぷよ
ぷよ
ぷよ
すっ
ゴク
つーかまえた！
うわっ
なっ…
離せよ！
ちょっとカイロさん
何してんの
フフフ
若い二人だけじゃ
うまくいかないだろ
なのでこの私が
アシストを
してあげよう
ガシッ

あっ
あ
くに
はぁ
はぁ
にゃる
にゃる
ん…
う
はっ
はぁ
はぁ
うあっそんなとこ
見ないでよ
うにょ
うにょ
うにょ
うにょ
うにょ
うにょ
うにょ
はぁ
はぁ
はぁ
おおもと…
はー
うに
うに
うに
君は見るのが好きなんだろう
だったらもっと近づいてじっくり見ないともったいないぞ

じっくり
はー
はー
ぴく
うわっ
あー
なんで
舐めてんの
れろ
あっ
そこはっ
あっ
にゅぐ
うに
うに
うに
そんなに硬く
閉じてないで
もっと奥まで
見てもらえって
う…
くりくり
うわっ
広げんなぁ

う…くっ
ピュ
ビュ
ピュッ
ええ…
イったの？
うん…
よし次のステップだ♪
んおっ
ちょ
こんなのダメだって
イ
ん
んむ
にゃ
ちゅ
ふぅ…ん
へろ
はぁ
れろ
あっ
くっ
んあっ

熱いの当たってる
うん
はぁ
大本君…
挿れたい
…いいかな？
はぁ
いいよ
来て
ん…
うっ…
ズズ
ズズ
くち

おおもとぉ
入った！
あっ
ピク
ピク
ズプ
そんな
いきなり
あっ
俺じゃなっ
触手がっ
勝手にっ
ぬん
ぬん
ヌプ
ヌプ
しっかりしっかり
動くなぁ
んあ
ぐちゅ
くちゅ
うぁっ
ビリ
ビリ
ゴリュ
ゴリュ
だめっそこ
当たると
ビリビリって
するからぁ！

ズン
ぶっ はぁっ
おおもと…
好きだ
はっ
ズン パン
グチョ
くちょ
は…今？
おっ…
俺も好き！
出る…
出すよ
ズリ
グチョ
パン
やっ
中ダメ…あ
ズク
ゼク
ん…ん…
はー
はっ
はあ

…ごめん…
中に出しちゃった
うに
うに
ん…
いいよ…
うに
カイロさんに
綺麗にして
もらう
ぐっ
オケーイ
ましか！
…また
やろうねぇ
う…
うん
ヒソ
よかったな
オオモト
ヒソ
ありがとう
フーいよ

どうだった？
ん…やっぱり
いなくなってるよー
ガチャ
もう帰っちゃった
のか自分の世界に
違うよ
完全にこっちに
来たんじゃない？
あー
ややこしいな
なー

なに？
見てんの
俺のこと
いや
泣いてないか
と思って
泣くわけな
…あっ
泣いてるの
見たいんだ
えろーい
なんだそれは
意味わからん
じっ

Please don't use without permission OniBoku

The Bride Of Another World

The Bride Of Another World

ぷにぷにぷにぷに
ボディ
bouncy gel feeling
Please don't use
without permission
QuiBoku

ねぇ 矢田(やだ)くん
今日時間ある？
ああはい
ありますけど
なんですか？
よかったー
ちょっと紹介したい人
がいるんだけど
大丈夫かな？
って思って
あー…
女の子ですかぁ？
俺、今はそういう
のはいいかなって
世話になってる
先輩の頼みだから
断れなかったけど…
いやいや恋愛に
直結するような
ものじゃないから
ねっ？
はぁ…
紹介するなっ
こちらモルンさん

モルンです
よろしく
ぎぅぅん

なんだよこれ
よろしく…
ぎゅっ
怖え～よ！

こっちに来たばかり
らしいからさ
仲良くしてあげてよ
は、初めまして
矢田康緒(やすお)です

ちょっちょっと先輩
どういうことですか！
なんですかあれ！
あ～ごめん
最初に言っとくと
来てくれない
かと思って
俺の彼女いるじゃん
それがさぁ
知り合いがこっち
来てるんだけど
バイトの子紹介
してくれない？
ってさ
は？ だからって
なんで俺が…！
だって矢田を
名指しで頼まれ
たんだもん
一目惚れしたん
だってさ
は？

異形と呼ばれる
生物が別世界から
現れて数十年

この世界と人類の
在り方はすっかり
変わってしまった

異界へと繋がる
穴は現在も進行形で
拡大贈幅

異形は次々と
地上に出現している

路地裏の穴

初期の頃は大きな
騒ぎになってたけど
彼らは社交的で
穏やかな生物だと
わかり…

観光です

今では彼らは
日常に溶け込んでいる
人類は異形を
受け入れたのだ

BBY

でも俺は苦手
なんだよねぇ
だって怖いじゃん

純粋に恐怖しちゃうん
だもんあの姿に

はぁ…

一目惚れって
そもそもなに？
気持ち悪いなぁ

そういえば
あいつら性別とか
関係ないんだっけ
矢田康緒
うおう！
ビクッ
あ…えっと
…モルンさん？
ドッドッドッドッ
また明日
会いに来る
へ…あ…
はぁ…
ビク
ビク
しゃん
ひいい
ガタガタガタガタ
やばい遅刻する
電車なくなる
ガチャ

ドドド
おはよう
ひっ
おはようござ…
ビキビキ
ビキ
会いに来るって
こういうこと?

ぷたあ
おつり20円ぞーす

キョロ
キョロ
ビク
ビク

助けてくださいよ
玄関の前に今朝急に
現れて…
え〜ん
それからずっと
見られてる
気がするん
ですよー

どうだった?
昨日はモルンさんと
一緒にいたのか?
先輩っ

ぎゅう
だろうね

Please don't use
without permission
OniBoku

あ…
も…

ダメ…

ありゃ？

なにそれぇ…
自分の姿考えてよ
そんなナリで急に
現れたらびっくり
するでしょ

すまない
悪かったよ
うう…
びっくりする姿が
かわいくてつい
からかってしまった
な

ん？
ダメかこれ？
少しでも
人に近づけるように
したつもりなんだが

ああ…そうなんだ
うん、そういうの
好きな人もいるよ
いいんじゃない？
変えた方が
いいか？
いやいい…うん
それでいいと思う
康緒に嫌われたく
ない…仲良く…
仲良くしてもらいたい
なんで2回言った
一目惚れだから
一目惚れ…
ああ
ここに来た
ばかりの時な
なんで上に
穴が開いてるんだ
まったく…
ん？
初めて見た人間は
綺麗だった
それが康緒だ
あち～
へえ～
そうなんだ…
うん…わかったよ

じゃあもう驚かさないで
勝手に家に入って来ないで
急に目の前に
現れないで
微妙な距離感から
ただ見てるだけとか
やめて それが
できるっていうなら
仲良くしよう

わかった
ぽあぁ

あっ今キラキラした
悪い奴じゃ
ないんだろうな
不気味だけど…

ではさっそく
康緒の休みの日に
出かけよう
あーはいはい
いいですよー

キャー
HELP
ミシマ

かっこいいよね

モルンさん
かっこいいって
ん？

ほほほ
妬けるか？
ぜんぜんー
そういう格好好きな
人がいるだけだよ
スチームパンクっぽい
っていうかさぁ
しらないけどっ

康緒！
ガッ
グイ
へ？
わっ
なっなに
ガシッ
ガシッ
ニャー
よかった
危なかった
怪我はないか？
ズイ
あのねぇ
今 全然危なく
なかったよね？

もしかして
触りたかった
だけじゃないよね？
ははぁ、まさか
あのさ
今日…
家に来る？
えっ！
いいのか？
ストン
だっていつも
どこかで身を潜めて
朝になったら俺に
会いに来てるんでしょ
友達がそんな
生活してたら
可哀想だし
おおっ
おいで！
晩酌付き合って
もらうからね

ぷはっ
食べたり飲んだり
できないの
可哀想だねぇ
おいしいのにー
こっちのものを
食ったら
帰れなく
なるからな
そっちの世界では
なに食べたり
してるの？
どんなところ？
ああ
ここと
あまり
変わらないよ
興味があるのか？
んーまぁ
あまりないかな
でもモルンさん
自身は別
モルンさんには
興味があるよ
ねぇその布の中
どうなってんの？
見てもいいかな
ああ…
まぁいいが

ぷるん
うっわぁなにこれぷるぷるしてんじゃん
大丈夫なの？よく動いてるねぇ
ふっ
あれどうしたの？
直に触れると変な気分になると思ってな
ああぁ
そうかごめんね
改めて意識してみると変な気分になるな…って何言ってんだ俺
モルンさん達は性別とか関係ないかもだけど俺は…俺も…
ドキ
ドキドキドキドキドキ
康緒…
ニヤー

俺はお前と
シテみたい
少しでいいんだが
はぁ？あっ
少しって！ちょっとぉ
量じゃないからね！
うわっ
…うん？
セックスしてみたい
うん
せっかく部屋に
呼んでもらえたんだ
でも無理じゃないかな
わからないよ
なぜだ？
だってそんな
簡単なものじゃ
ないんだって
あ
する
しゅる
にゅる
にゅるる
にゅ
にゅ
にゅ
にゅ

ふーっ
ふーっ
う…んん
ふうう
にゅる
しゃる
暴れないでくれよ
暴れたくても
動けないって
ああ…もう
知らない
ここは気持ちいいか？
んーっ
全然気持ちよく
ないって…
えっうわっ
ちょっと、まじで…
それはよくないな
ぴと
うにょ

ここなんだろう
気持ちいいのは
あっ
ぱくっ
ちゅっ
ちゅっ
にゅるっ
えっちょっと
あっ…！
ん
にゅるっ
んあぁっ
ビクッ
うにっ
なんだよこれぇ
あ
包み込まれて
収縮してるぅ
やぁ
にゅるっ
ちゅうちゅう
だめだって
うにっ
どうだ？
気持ちいいだろ
ん…すごい…
ちゅぷっ
うにっ
ああもう！
ぐぅにっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
んっ
う

えっ！
ひぁぁっ
ちょッ！
なにしてんのぉ
ここを使うんだろ
お前は男だし
いやっそうだけど
怖いって…
ヒっ
前絞っといて
やるから
ゆっくりほぐすぞ
う…
ん
痛いか？
痛くない…
どころか
ゆっくり中に入って
広がってるの…
人間にできないよね
こんなの…
気持ちよく
なってきたか？
うん
はっ
はあ
ああ

ふぇ
康緒
かわいいな
うえぇ
くにくに
うんんっ！
もっとよく
してやりたい
んあ…
それ、入れるの？
ぢゅぷ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
にゃにゃにゃ

ぴゅ
あっあ
あ
あん
あ
ぴゅぴゅ
ぴゅぴゅ
ズーン
ズーン
ズーン
ズーン
はあぁ
あ
ふー
ふー
ふー
んー
ナカでおっきく
し、しないでぇ
きゃう
きゃう

だめっあっ
イク！
俺も出すぞ
お前のナカに
うあっ、アッ
まって
ビュルル
ビュルル
ビュルル
ギュー
ギュー

ひゃっ
あっ！
ビク
ビク
ドクン
ビュクン
ビュクン
はー
しゅるる
ロイ
はあ
ありがとう康緒
いいよ
きゅ
ああもうお婿に行けない

本来の姿でお前と交わりたかったな
なにその言い方これで終わりみたいじゃないか
そりゃずっとここにいるだろうなんて思ってないけどさ
パイ
何も言わないでいなくなることないだろバカ

あのー…
はい
すみません
駅はどこでしょうか
こっちに来た
ばかりでよく
わからなくて
よかったら
案内してもらいたい
のですが…
ああ
いいですよ
じゃ一緒に
他の男のモノに
なるつもりなのか?

Please don't post without permission
OmniBoku

行こうぜ康緒！
俺の世界に！
え？
急に…
そして俺の
子供を産んでくれ
えええええ!?

Please don't use
without permission
OniBoku

The Bride Of Another World

The Bride Of Another World

Red tying
赤色の糸
Please don't use
without permission
OniBoku

孝広(たかひろ)～
ちょっとこれ
聞いてみてよ
えーなに
怖いやつ？
違う違う
昨日動画サイトで
かっこいいMV見つけ
たんだけどさぁ
俺もさっき見せ
られたんだけど
曲もよかったよ
へぇ～
ビジュアル系？
ロック？
わかんないけど
ギャンギャンうるさい
そーなんだけど
かっこいいんだって
最後まで見てよ
あ、声はいいね
メロディもよく
なってきた

うそ…

これ…
ボーカルの人

レオンって
言うんだって
かっこいいよなー

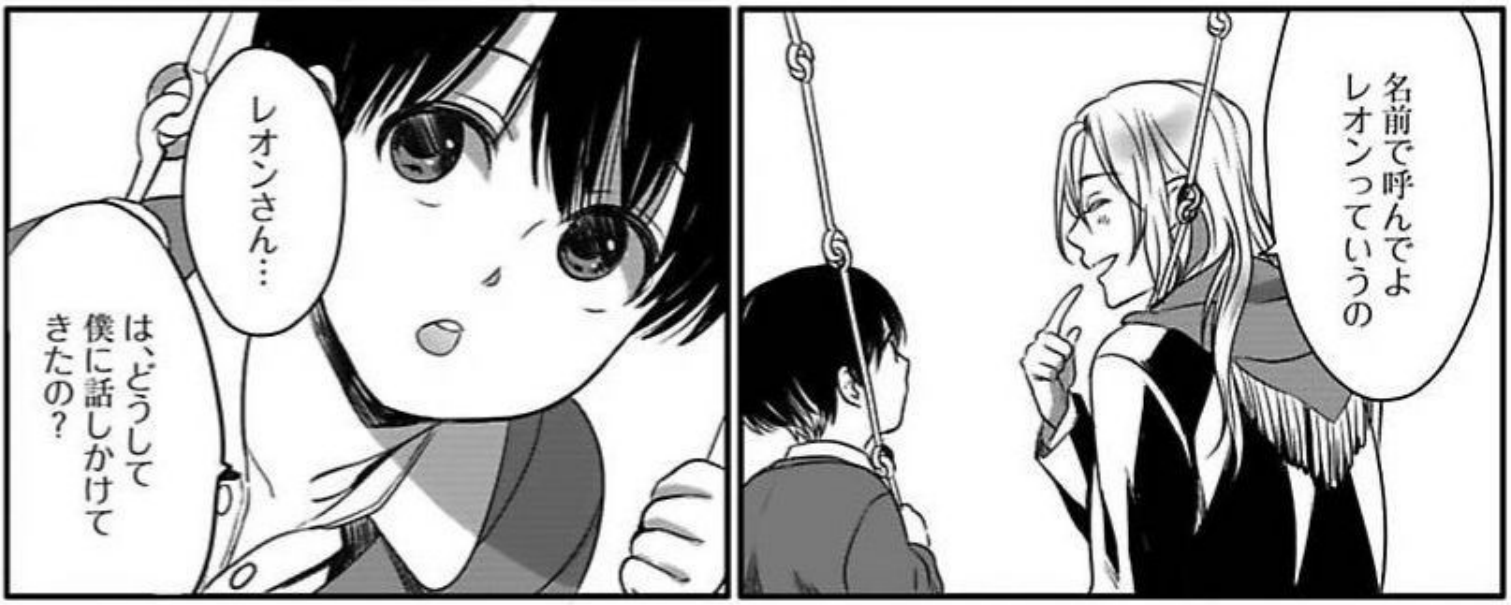
この人

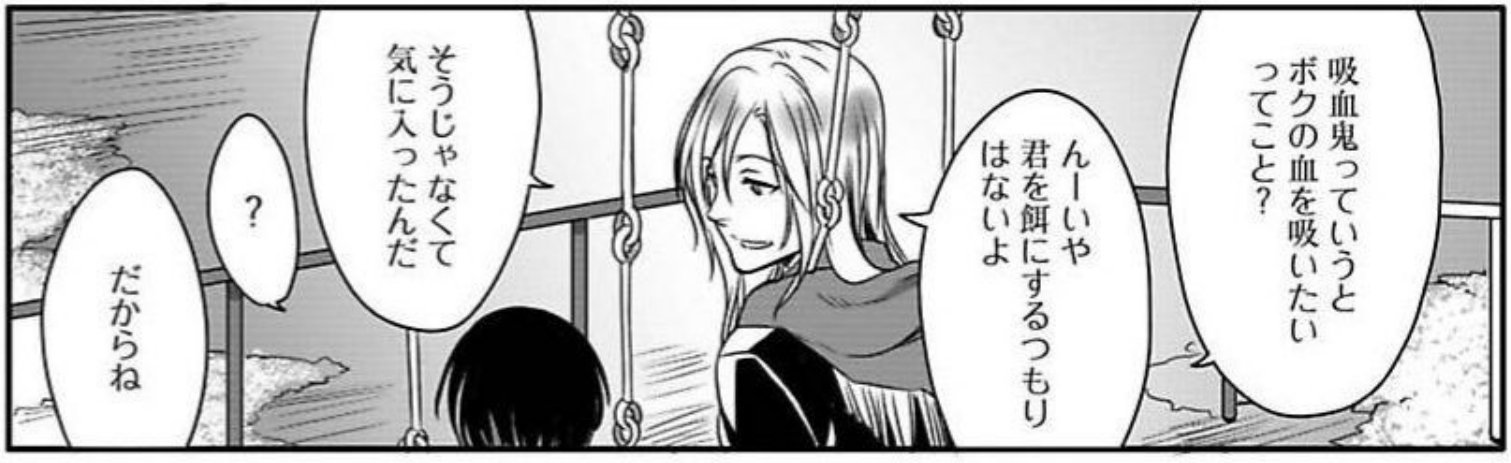
僕知ってる？

10年前——
小学生の時 僕には
秘密の友達がいた

おいなり公園

えー
吸血鬼ー？
なにそれー
おじさん面白いね
自分のことを吸血鬼だー
とかいう変な人だった
僕よりもずっと年上の
男の人
いやいや本当だって
俺本物の吸血鬼だからね
っていうかさー
おじさんってさぁー
まぁ実際おじいちゃん
かもしれないけど
傷つくー


名前で呼んでよ
レオンっていうの
レオンさん…
は、どうして
僕に話しかけて
きたの？


吸血鬼っていうと
ボクの血を吸いたい
ってこと？
んーいや
君を餌にするつもり
はないよ
そうじゃなくて
気に入ったんだ
？
だからね

俺の仲間になって
欲しいんだ
吸血鬼になって
一緒に長生きしよっ

え？ 僕ドラキュラ
になれるの？
かっこいい！
どうやるの？
あーでも今すぐ
じゃないよ もう少し
大きくなったらね

それまで傍で君のこと
見守っててていい？
うんっ！
じゃあ友達だね！
それから僕はレオンさんと
毎日学校帰りに会って
遊んだり勉強したり
お話ししたりした
——だけど
母さんに知られて
怒られちゃったんだ
警察に通報するって
騒ぎになっちゃったから

ごめんね
もう会えない

そうか
…あのね
10年たったら僕も
結婚できる年齢に
なるんだ…
そしたら大人って
事だよ だから

10年たったら
また会ってくれる？
うん
孝広に会いに行く
あれからもう
10年たった
おいなり公園

懐かしいなぁ
この公園…
小学校出てから
来てないや

ドキ
ドキ
ドキ

まさか…ね
だってあんなこと
真実なわけ——

ん——
思ったとお〜り
美人に育ったなぁ
孝広！

ハッ!!

再会の場所が
思い出の公園なんて
ロマンティックぅ
え…あっ
どっ
孝広！
会いたかったぜぇ
ず～っとお前のこと
ばっかり考えてた！
たま～に遠くから
見てたけど近寄ら
なかったからな
うそ
ぎゅっ
ぎゅっ

なんで本当に
会いに来るんだよぉ
10年間
僕は悩んだぞ
レオンさんと
別れてから
しばらくは
いつか会える
んだから
淋しくないもん
でも忘れられ
なかったから
吸血鬼？
ちょっと待て
あれってただの
ショタコンおじさん
だったんじゃ？
僕危なかった？
好き…だったよ
でもあれは僕が男性を
好きになる質だという
事を気づかせるための
幻だったのでは？
だけどよく考えて
みるとあり得ない
話だし…
近頃では
レオンさんは概念
って事で納得
させてたんだ
10年経っても何も
起こるはずないって
自分の中で決着
つけられたのに

Please don't use
without permission
@nuBoku

はっ
はっ
タッ
タッ
タッ
ふぅ
もう…なんなんだよホントに訳わかんないよ
はぁ
近くで見ても昔と変わってなかったなぁ
吸血鬼って本当なのか…？

見つけた！
ひっ

も〜〜〜っ
俺から逃げられると
思うなよなー
なんの考えもなしに
走っただろー
詰めが甘いなぁ
衝動的っていうか
変わってないねぇ
っていうか
逃げてどうすんの？

う
うるさいな
10年間悩んで
やっと落とし所
見つけたんだから
そんな今更
受け入れられるわけ
ないんだよ

なんだよ落とし所って
勝手に落とすなよなぁ
とっ
とにかく！
混乱させないでよね

まぁいいや
時間はたっぷりあるし
ゆっくりカン取り戻して
それまで
傍で見てますっ
付きまとうぞー
は？

孝広君はー
もう子供じゃない…でしょ
う…
うおっ
まじ？
レオン
すげー
新曲めっちゃよかったです！
実物かっけー
なにこいつらうるさいよ
ファンなんだって
おー
そっか～
サインいいですか？
おー
はぁ

ほんっとうに
付きまとってくるんだ
もんなぁ昼夜問わず
バイト先でも
家の前まで
学校でも
こんなの迷惑な
はずなのに

嫌じゃないって
いうか…
むしろ…

じゃ また明日な
あ、あのさ
僕と別れた後
どこ行ってんの
家あるの？
んーあるよぉ一応
気になる？
べ、別にそんなんじゃ
ちょっとした好奇心
っていうか…
よしっ！

今から俺の家に
招待しようお姫様
紅茶を淹れてしんぜよう
吸血鬼の屋敷…
う…うんっ
きっと鬱だらけの
不気味な洋館で
仲間の吸血鬼と
従者の蝙蝠
寝床はもちろん
棺でしょー
アンティークのカップで
紅茶を飲む優雅な
ゴシックスタイル？
うわ…映画みたい
楽しみかも…！

ほい
熱いから
気を付けてねー
ありがと…

殺風景だね…
ワンルーム
んーそう？

一人なの？仲間は？
バンドの人とか
一緒じゃないんだ
あーあれは頼まれたから
歌ってみただけで
仲間じゃねーよ
まぁ知り合い、かな？

えっじゃあ
一人ぼっちなの？
そだよずっと
ずーっとね
言ってなかったっけ？

俺はねー
何年も一人で
生きてきたんだ
群れたことはないよ
孤独主義ってんじゃ
ないけど自由に
生きたいからさ
面倒でしょ
他人なんて足枷
でしかない

そう…なんだ
だからさー
初めてだよ
誰かといたいと
思ったのは

今の俺は孝広を
仲間にして何百年も
ふたりで生きるのが
望み

な…
なんで僕なの？
ん？ なんでだろ
ガキの頃のお前見て
そう思ったんだもん

愛？ 恋？ ってやつ？
初めてのことで
わかんないけどー

愛…恋ってなんだよそれ？
さみし…かった？
ミキ ミキ ミキ
さみし…くはないけど
コト
孝広に会えない10年間は長く感じたかもなぁたったの10年なのに
ドキ ドキ ドキ
長い間仲間も作らず自由に生きてきた男が選んだのが僕…？
そんな風に思われるなんてすごい事じゃない？この先残りの人生でそこまで誰かに愛されるなんてあるのかな？
ドキ ドキ ドキ ドキ ドキ ドキ
そ…う…なんだ

これがたった一つの愛ならば…
たかが十数年しか生きてきてない僕の人生をこの人にあげてもいいんじゃないのではないだろうか
いいよ
僕の血…
飲んでいいよ
ドキ
ドキ
ドキ
ドッ
ドッ
ドッ
ドキ
え？
仲間にするには血を飲むんじゃないの？
え？ でもいいのか？
お別れとか親とか友達とか
後でもできるでしょ
ああ…うん

僕の気が変わる
前にやっちゃってよ
ふわ
孝広！
Please don't use
without permission
OniBoku

あっ
ぴく
ちゅ
ぢゅっ
ん
ん
ちゅ
あ
ちゅっ
あっ
トサ
はっ
ガシ
飲んで？

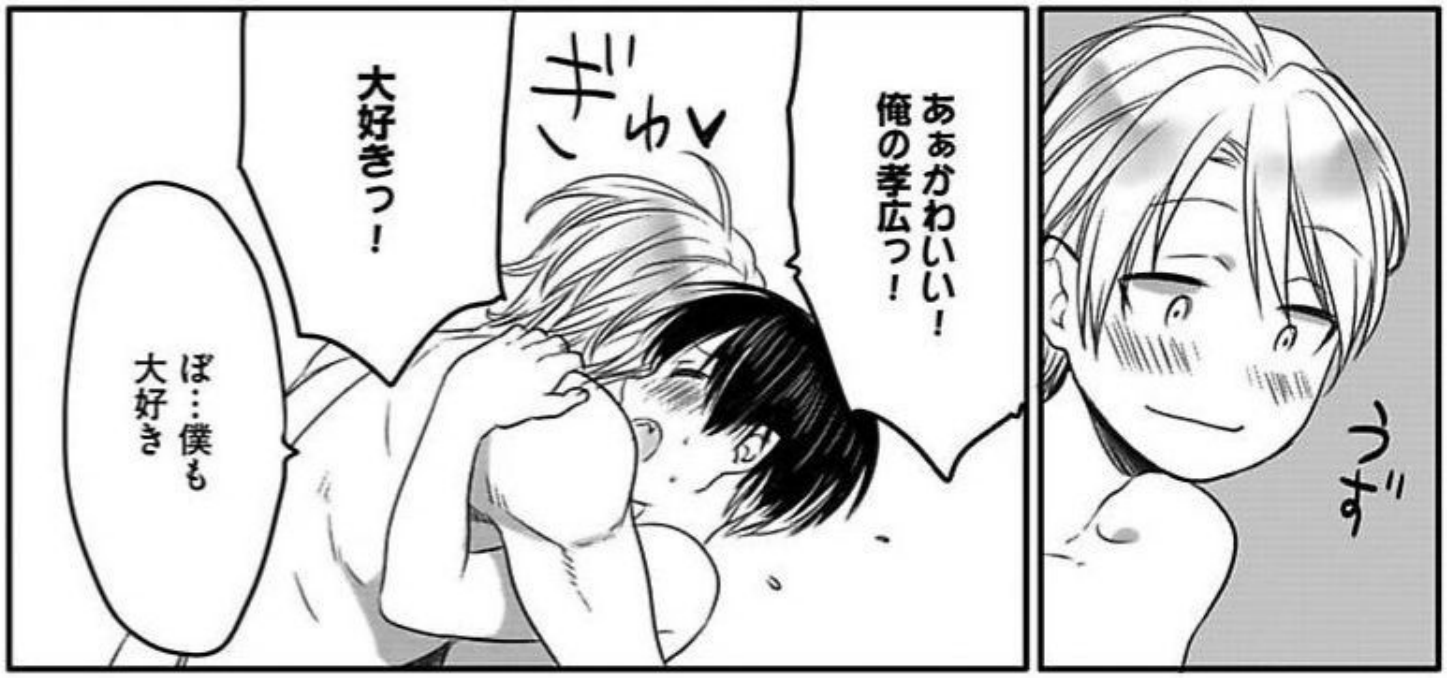
ん…ふ…
んく…っ
ゴク
ゴク
ぷは
はっ
はっ
ゾクゾク
これでもう
お前は仲間だ
俺のものだ
ん
はぁ
はぁ
ゴッ
ふ…
ちゃ
ちゃ

あっ
なに…
あれぇ？
急に…体
あっ
ははっ
牙出てきた
血を飲まれると
気持ちよく
なっちゃうでしょ
んあっ
もっとよくなろうね
あ

おおすごい
まだ出てる
ドロドロだよ
も…全部出ちゃうぅ
びゅくん
びゅくん
ぐにっ
ひく
あっ
きもちぃ
やだぁ
んっここっちも
いけそうだなっ
いくよ孝広
ぴと
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ
体も一つになれたな
ニヘラ

うん…
うんっ！
ズ
あっ
ああ
レオンさぁん
そこっなに
いやだ
ゴ
ゴッ
ゴッ
ゴッ
ズ
変になっちゃう
から～
いっちゃ…
いく…
ズ
変になっちゃえ
あ、
はっ
いい子

ゼク
ゼク
ゼク
あ…
どぴゅ
は…
はぁ…
はぁ…
ぴく
ぴく


うず
あぁかわいい！
俺の孝広っ！
ぎゅ
大好きっ！
ぼ…僕も
大好き

Please don't use without permission
OriBoku

The Bride Of Another World

ぼくらの青春

黒沢昴介とは
高校に入ってから
知り合った
同じクラス同じ部活
同じ路線の二つ違いの駅
帰りもいつも一緒
第一印象は
大人しそうな
お坊っちゃん

稲荷前公園
三年引退したから
これでレギュラー
狙えるな昴介

どうかなぁ
でも頑張るよ
大成と試合
出たいしね
おうっ
練習だったら
付き合うぜ

ありがとう

昴介の笑顔が
好きだ

昴介のことが好きだ

ふわ
ドキ
ドキ
なんかさ
ドキ
昴介の髪の毛
いい匂いがすんのな
すっ
練習後でも
汗臭くないし
サラサラだし
そんなことないよ
汗臭いだろー
ドッ
ドッ
いや…まじで
いい匂いがする
ビキ

大…成？

ちゅ

あっ
ごめん
何やってんだ俺！

勢いで
男友達にキス
するやつが
どこにいんだよ
言い訳
できないだろ！
ドドドドド

嫌われたらどうするんだ！
大成
だめだよ
あ…
ごっごめん 気持ち悪かったよなどうかしてた…
あ、違うそうじゃなくて

大成は才能あるんだから部活に専念しなきゃ
ＩＨ（インターハイ）で優勝するんだって言ってたじゃないか
僕もレギュラーになれるように頑張らなきゃいけないしね
あ…ああそうだなっ
そのかわり

優勝したら
いっぱいチュウ
しようよ

なんだそれ
ふっ

さぁ～～～
なんでしょう？
一年間も
待たせる
気かよー
ふふ

覚悟しとけよ
昴介！
うん！

よしっ
その言葉覚えておけよ
俺、まじでチームを
優勝に導いてやるからな！

この時の会話が
俺の残りの学生生活の
明確な指針に
なったようで
あ、でも
手くらいは
繋いでもいいだろ
えー
どうしよっかな

ダム
ダム
ダム
一年間
ガムシャラに
練習に励んだ
INARI
1
OKITSU
キュ
キュ

本当に優勝
できるとは
思わなかった

夢かなったね
皆の力だろ
もちろん
昴介も…な

うん
すごく楽しかった
僕は君が
誇らしいよ

くっ
約束…
覚えてるか？
…うん

いっぱいキスするんだよね
その前に大事な事言ってないんだよ
好きだぜ昴介
俺と恋人同士になってくれるか？
もうっ
君は本当にかっこいいなぁ
大好き！
きゅ

昴介！
ぎゅっ
ぎゅうう
ぎゅっとしすぎ
苦しいよ
だってかわいすぎ
るんだよお前
キスするぞ
うん
んっ…
ちゅ
気持ち
もっとしていい？
うん

ちゅうう
ああ…
昴介…
はっ
愛しいかわいい
好きだ
もっと気持ちよく
させたい
ふ
ぴちゃ
んう
声えろい
れろ
やばい
ズキ
すう

！
ぎゅっ
昴介…
大成
ドキ
キス気持ちよくて…僕も…
ねえ触ってくれる？
もみ
もみ
布越しでも大きくなってるのがわかる
勃起してるの見たい
くり
俺のキスで反応したんだよな
直接触ってもいいか？
いいよ…僕にも見せてくれるよね

ぴょこん
ぴん
ははなんか…かわいいな
なんだよ笑うなよ
ごめん…昴介のだからか可愛くって
すごく愛おしいよ
僕は大成のおちんちん見て
Hな気分になったけど？

昴介？
僕は君の恋人なんだから
大成のここ…もっと知りたいよ
すー
はむ
ちゅっ
昴介…
もう…
ぺろ
まだイかないで
ちゅっ
ちゅ

イクなら
僕の中で出して
なかって…
セッ…
ダメ？
鍵かけておいたよ
あ、まじ？
それに…
もう引退だからここに来るのは最後だよ

あ
きっ
は
は
ぴく
ぴく
あ
ぴん
くにゅ
奥まで入ったすげー
ぴく
う…あ
ごめんな痛いよな
でも止められそうにない…
くちゅ
ゆさゆさ
ちゅく

いいよ
やめないで
ズッ
ズッ
でも
泣いてる
今までのこと
部活のこと
痛いからじゃ
ないよ
僕のこと思って
くれたこと
全部が嬉しくて

ギュッ
大成にされること
すべてが幸せなんだ

やば
こーすけ
こーすけ
大成
気持ちいー
はっ
はっ
ちゃ
ちゃ
ズ
ズ
ズ
ズ
はっ
はっ
んっ！
ぴゅくw
ぴゅくぴゅく
〜!!

はー
はー
はー

ん

おう
またしようね
へへら

キーン
これからは
恋人同士だもんな
END

The Bride Of Another World

The Bride Of Another World

キスの演習

隼人…
聞いてくれるか
実は昨日…

初めて合コンに
行ったんだ
は？

聞いてない
ごめんごめん
昨日急に
言われてさー

今日直接
会って報告
したかった
んだよ

……
なんだよぉ
そんな顔
するなよなー

小学生の時から
好きな相手に
合コン行ってきた
なんて言われたら
そりゃ〝こんな顔〟
になるだろ
苦しい痛い
もやもやする
憎らしい
くそっ卓己(たくみ)め
ごめんごめん
それで？
女子大の子達
だったんだけどさ
すごくかわいい子が
いたんだ連絡先も
交換した
へぇ
よかったな
うまくいくと
いいな…
うーん
まぁ…ねぇ
それで思ったんだ
今まで誰とも
付き合った経験
ないからさ
キスとかそういうの
うまくできるか
…不安になったんだ
ガラ

あー
高校の時もっと
経験しておけば
よかったー
隼人も思うだろ
経験しとけば
よかったなーって

さぁどうかな
卓己よりは詳しい
と思うけど
は？
嘘だー
お前彼女
いなかっただろ

大体いつも
俺と一緒だった
じゃないか
そいつらとの
それがまぁ…
そうなんだよ
ピーン
たまに先輩とか
後輩とか男と
帰ってたくらい
じゃないか
自信持ちたいなら
練習したらいい
んじゃないか？

え？ 何それ そんな道具が あるのか？
いやそうじゃ なくてさ
俺相手にってこと
キョトン
ぷっ
冗談だよ 本気に…
それいいな！
はは
ガシ
頼むぜ隼人！

それじゃ
いくぞ！
は？
今ここでか？
人が見てるだろ
練習なんだから
問題ないね
どういう理屈だ
ちゅ

どう？
…いいんじゃない？
いいんじゃないって
なんだよー
褒めてくれよなー
唇合わせた
だけだろ？
Boo
FREE

じゃ、そろそろ
行こうぜ
周りの視線が痛い
ちえー
FREE

また練習
すればいいだろ
ひそ
ひそ
ひそ
また？

どうせ毎日
会ってるんだし
付き合ってやっても
いいぜ？
……まじ？
FREE
ONE YEAR
TRIAL

さんきゅ隼人！
持つべきものは
友だな！
あわよくばって
気持ちで
言ったけど
本当にいいのかよ
なにが？
いや…
はーやと！
ごめん
少し遅れた
いいよ
ぱし

ちゅ～
ちゅう～
どう！
にっ

もしかして
シチュエーションで
勝負するつもり
なのか？
こういうのダメ？

こんなの体が
もたないかも
ちゅ
ちゅちゅ

まぁ…
卓己がいいと
思うならいいん
じゃない？
俺には効果てき面
だけど
ドキ
ドキ

鳥みたいだな
ついばまれて
いるのか俺は
数打ってんだよ
数ねぇー
ちゃ
ちゃ
ちゃ
ちゃ
俺がちゃんとした
キスの手本を
見せてやるよ
ぐっ
!!
ちゅう

ちょっ
なに!?
なにって
口開けろよな
え?
くち…
れろ
れろ
ん
もご
れる

1.3
これくらい
しないと練習に
ならないだろ

次は卓己から
してみてよ
お…うん

練習…だもんな
そうそう

明日あの子とデートするんだろ？

うん
告白するんだろ
うまくいくといいな
隼人は…
それでいいのかよ
え？
俺どうしたらいい？
もう彼女のことなんて
どうでもよく
なってるんだけど
隼人のせいだぞ！
お前のことしか
考えられないんだ
は？

だから！
好きになっちゃ
ったんだよ俺！
隼人のことが！
好き？
うん…
……
なんだよそれ
なんだよそれって
そんな言い方
おい隼人…っ

トン
隼人!?
俺なんかなぁ
ずっと…ずーっと
前から好きなんだぞ!
え…
じゃあ…
両想いってこと?
…だな!

うわ
嬉しい
ちゅ
俺も
ちゅ
わっなに!?
れろ
隼人!?
そうと決まったら
我慢することと
ないなと思って
え…?
まじで?
ちゅ
ちゅ
キスだけじゃなくて
俺がもっといろいろ
教えてやるよ
フィ
フィ

うっ
れろ
おお
れろ
わっ！
ちょっと
待って！
いいから
じっとしてて
俺に任せ
とけよ
ちゅぴ
れろ
う
ぴく
うあぁ
れろ
ぴちゃ

あっ
ぱくっ
ビク
あー
ん
ちゅぽ
ぢゅぽ
れろ
れろ
れろ
あ
あ
口の中で
舌の動きが
うねうね
やばい！
イク…
カッ
隼人！

ごめんっ
どう
気持ちよかった？
うん

ぬる
ぬる
次は俺を
気持ちよくしてよ
うぁ
まだ
元気じゃん
あ…
ぷつ
あ！
はあぁ
ぴく
ぬぷぅ
ぐぷ

あ…入ってる
卓己、入った
隼人…
気持ちい…
卓己…
突き上げないで…！
あ
あ
ズン
ズン
ズン
くちっ
くちっ
あん
はっ
はっ
はっ
あ
クチュ
クチュ
ズリ

ふー
んん……
ビク
ふー
ふー
ビク
プルルル
黄色い線の内側に
ちゅっ
ちゅ
ちゅっ

すぐに陥落
させられてしまう

The Bride Of Another World

The Bride Of Another World

描き下ろし
おまけまんが

ソラだって里帰り？ってやつ？したいだろたまには
だからって何カ月も居すぎじゃない？
んでもこの姿もたまにはいいもんでしょ？かっこよくない？
ホスなのにおそわれた!!
にげたら(ハート)
まぁ
あっちだとソラが心配で何もできない時があるっていうか…お前も気が休まらないだろ
うーん

それにこっちも変わったやつが増えたし住みやすくなった気がする
あー…
ハチみたいなの増えたよね
え？俺みたい？

しばらく滞在するにしてももう少し広い場所じゃなくていいの？
全然いいでしょむしろ貸してもらえて感謝って思ってるよ
それもそうか
あっ

懐かしい昔ここに知り合いがいたんですよ
へぇー
でもボロボロだよね
昔ってほど昔じゃないだろ
いーのいーの

住処はぁ
狭い方が楽しいって
気づいたわけだよ
きゅ
んん？

だってソラと
いつでもべったり
くっついて
いられるだろ

ちゅ♥
NYAN
ANYAN
YANYA

へへ♥

まだまだこっちで
いっぱい楽しもうぜぇ♥
はいはい
うりゃー♥

オワリ

お買い上げありがとう
ございました！ 宮下キッネ
角砂糖外も描いてみたかったなぁ

異世界の花嫁
（GUSHmaniaEX 特集:花嫁）

見つめる先に
（GUSHpit 特集:乱交・複数プレイ）

ぷるぷるふるえるフィーリング
（GUSHpit 特集:ナマ出し）

赤色の縛り
（GUSHmaniaEX 特集:10年愛）

ぼくらの青春
（GUSHpit 特集:DK）

キスの演習
（GUSHmaniaEX 特集:キス・舌技）

おまけまんが
（描き下ろし）

◆宮下キツネ先生へのご感想・ファンレターは
〒102-8405東京都千代田区一番町29-6 (株)海王社 GUSH編集部気付でお送り下さい。
▽こちらからもご感想をお送り頂けます。
http://www.gushnet.jp/contact/

異世界の花嫁

2017年9月20日初版第一刷発行

著　者　宮下キツネ（みやした）
©KITSUNE MIYASHITA 2017
発行人　角谷　治

発行所　株式会社 海王社

〒102-8405　東京都千代田区一番町29-6
TEL.03(3222)5119（編集部）　TEL.03(3222)3744（出版営業部）
www.kaiohsha.com

印　刷　図書印刷株式会社

ISBN978-4-7964-1058-8

本書の無断転載・複写・上演・放送を禁じます。また、本書のコピー、スキャン、
デジタル化等の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。
本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や
家庭内での利用であっても、著作権法上認められておりません。
本書の掲載作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。

KAIOHSHA COMICS

Printed in Japan

異世界の花嫁

電子限定かきおろし漫画

お買い上げありがとうございます！

めちゃくちゃ
お祝いしました☆

「迎えに来たぜ　ソラ♡」

ハタチの誕生日、両親を亡くして天涯孤独の
ソラの前に謎の青年が現れる。彼は、
ソラが10歳のとき命を
救った異界の生物・ハチだった。
ソラを嫁にするため成長を
10年間待っていたというハチは、

どんなにつきはなしても
毎日しつこくプロポーズを
してきて――!?
触手を持つ異界の生物×孤独な青年の異種間ラブ♡

The Bride Of Another World.

presented by Kitsune Miyashita